

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	地域教育力ネットワーク推進事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'01	①〈地域力〉 地域組織や市民活動の力を育て、まちづくりに活かす	
	'03	3 地域社会で家庭や地域の子育てする力を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	青少年	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
子どもたちが、同世代また様々な世代間との交流を通し、地域活動に主体的に参加し、豊富な生活体験、社会体験、自然体験を積み重ね、「生きる力」をはぐくむ教育環境づくりを進めます。		子ども一人一人の自立と「生きる力」を育むため、各中学校区地域教育力ネットワーク協議会において、地域の特色を生かした世代間交流、体験事業等を推進するほか、こどもサポート看板の設置、夜間パトロール等の共通事業を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	地域教育力ネットワーク協議会代表者会議及び役員会開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績	7	9	10		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績					
成果指標①	指標名	こどもサポート看板設置世帯数			単位	世帯
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績	2032	2038	2002		
成果指標②	指標名	各地区協議会事業における児童・生徒の参加者数			単位	人
	説明・算定式	(平成24年度から)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績			3199	3700	
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成24年度の主な取組と成果						
各中学校区に設置している地域教育力ネットワーク協議会では、子どもたちの主体的参加により、世代間の交流、生活体験、自然体験を通して、「生きる力」を育むために、通学合宿、防災キャンプ、カルタ大会等、各地区で独自の事業を実施しました。また、全地区共通事業として、見守りパトロール、こどもサポート看板の設置・管理及び研修会を実施しました。これらの諸活動を通して地域で子どもたちを見守る活動が進められました。						
平成24年度の検証結果	B：おおむね成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	子どもたちが地域社会へ主体的に参加し、様々な世代間交流、体験活動を積み重ね、生きる力を育むために、青少年関係団体や学校等で組織する教育力ネットワーク協議会は必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	発足から16年を迎え、その取組みが確実に定着してきました。地道な取組みの継続により、子どもたちの地域社会への主体的参加が図られ、家庭・学校・地域のネットワークがつけられています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	事業が子どもたちの「生きる力」を育むことに繋がっているのか、「代表者会議」や「役員会」、「全体研修会」を通じて情報交換や検討を重ねており、支援は妥当であると考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	活動自体が各中学校区単位で、協議会が主体的に実施していることから、職員は会議や研修会等に従事するのみで、活動に対しては助言のみをしています。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 各地区協議会がそれぞれの地域の中で主体となって実施している事業は何か、またその事業が子どもたちの「生きる力」をはぐむことに繋がっているのかどうか改めて検証する必要があります。また、各地区協議会の実施事業について、活動面での交流も図れるように情報を随時提供していくことが必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		地域教育力ネットワーク協議会の活動支援	地域教育力ネットワーク協議会の活動支援	地域教育力ネットワーク協議会の活動支援	地域教育力ネットワーク協議会の活動支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	2,578	2,450	2,000	1,800
事業費 (A)		2,578	2,450	2,000	1,800
執行率 (%)		100.00	100.00	100.00	
内訳	職員 (人)	0.45	0.50	0.45	0.65
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		3,717	4,052	3,607	5,167
フルコスト (A+B)		6,295	6,502	5,607	6,967

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針 協議会組織の活性化、活動の拡充について役員会議や代表者会議で検討していきます。また、各地区協議会が活動面での交流も図れるよう、情報提供を強化します。
課長コメント 子どもたちの「生きる力」を育むために、新たな事業を展開する地域もでてきており、充実しています。今後も継続し支援していきたいと考えています。